

大雨に

備える

6月は
土砂災害防止月間です

6・7月は梅雨の季節です。この時期の長雨は、大きな災害をもたらす可能性があります。また、近年はゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な集中豪雨があり、昨年8月の集中豪雨では市内で浸水被害が発生しています。大雨や集中豪雨による災害は、地震などの予測が難しい災害とは異なり、事前に情報が収集できる災害です。天気予報や行政が発表する情報に注意して、早めの準備や対応をしましょう。

岡危機管理室 ☎ 32・2042



平成22年7月大雨による土砂災害(上横野)

チェック2

☐連絡方法の確認

災害用伝言ダイヤル 171



固定電話や携帯電話で安否情報を録音したり、伝言を再生したりできます

伝言の登録 171+1+電話番号

伝言の確認 171+2+電話番号

※電話番号は市外局番から

災害用伝言板



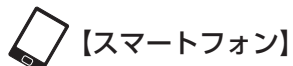
携帯電話やパソコンなどから安否などの伝言の登録や確認ができます

利用ホームページ

<http://www.web171.jp/>

災害用音声お届けサービス

携帯電話やスマートフォンから、音声メッセージが登録されると、メッセージを伝えたい相手にSMS（ショートメッセージサービス）でお知らせします



【スマートフォン】

専用アプリのダウンロードが必要です
NTTドコモ・・・「災害用キット」
KDDI・・・「au災害対策」
ソフトバンク・・・「災害用伝言板」



【携帯電話】

携帯電話のメニューの電話機能から「災害用音声お届けサービス」を選択して利用します

2 連絡方法を確認しよう

災害が起きた時の、安否確認のための連絡方法を、あらかじめ家族などで決めておきましょう。大規模な災害が発生した時に利用できるサービスを紹介します。

チェック3

☐備蓄品の確認 ☐家の周りの点検

■家の周りの点検

- 瓦やトタンのひび割れや、ずれがないか
- アンテナの固定がされているか
- 雨どいのつなぎ目はずれ、塗料のはがれ、落ち葉などで詰まっていないか
- ブロック塀や壁にひび割れ・亀裂がないか
- 窓ガラスのひび割れや窓枠のがたつきがないか
- 側溝や排水溝の詰まりはないか



■非常持ち出し品

- 飲料水 食品 貴重品 常備薬
- 救急用品 ヘルメット、防災ずきん
- 軍手 懐中電灯 衣類 下着
- 毛布 携帯ラジオ、予備電池
- マッチ、ろうそく 使い捨てカイロ
- 筆記用具 ウエットティッシュ

■非常備蓄品(1人当たり：3日分)

- 飲料水(9リットル)
- ご飯(アルファ米4～5食分)
- ビスケット(1～2箱)
- 板チョコ(2～3枚)
- 乾パン(1～2缶) 缶詰(2～3缶)
- 衣類 下着(2～3着)

※出来れば1週間分程度を用意しておきましょう



3 備蓄品や家の周りを確認しよう

備蓄品は、避難する時に持ち出す、「非常持ち出し品」と避難後の生活を支える「非常備蓄品」をそれぞれリュックサックなど持ち運びやすいものに分けておきましょう。また、家の周囲を日ごろから点検して、専門業者に相談しておきましょう。

チェック1

☐危険箇所の把握 ☐避難予定施設の把握



津山市防災ハザードマップはパソコン、携帯電話からも確認できます

津山市防災ハザードマップ

検索

クリック



※通勤・通学先など頻繁に通う場所も確認しておきましょう

津山市防災ハザードマップには「土石流」「急傾斜地崩壊」「地すべり」などの危険箇所や小学校や公民館などの避難予定施設が地図に記載されているので事前に把握して避難経路を考えてみましょう。

1 現状を把握しよう

平常時の備えとして